

「むくげ通信 284号」2017. 9. 24より
随想「拙著 韓国での出版計画」

山根 俊郎

去年（2016年）11月24日夜、東京のK.A.C（コリアアーツセンター）音楽プロデューサーの李喆雨（リ・チョルウ/리철우）先生から電話をいただいた。「12月1日に韓国の出版社の社長が東京に来るので山根さんも来てください。山根さんの『カラスよ 屍を見て啼くな 朝鮮の人民解放歌謡』の本を韓国で翻訳出版しましょう」という内容であった。

李喆雨先生（77歳）とは、一昨年（2015年）8月6日に東京文化会館小ホールで先生が企画・開催した「8・15 70周年記念コンサート【解放の歌】在日一世愛唱歌特集（1945-1960）」というコンサートで初めてお会いした。それ以来、交際が始まり電話で北朝鮮の音楽について長時間話し込むなど親しくなった。

さて、私が昔書いた『カラスよ 屍を見て啼くな 朝鮮の人民解放歌謡』1990年 長征社〔今は廃業〕発行4500円）という本は、1948年7月に在日本朝鮮民主青年同盟 東京本部文化部が編集発行した『人民解放歌謡集』を復刻・解説したものである。その歌集には32曲の朝鮮語の歌と18曲の日本語の革命歌謡、合計50曲の楽譜が収められている。当時、故金英達（キム・ヨンダル）さんがよくバックアップしてくれた。

私は、慌てて JR 新幹線のジパング倶楽部に加入（年会費 3,770 円）、20%引きの往復（27, 220 円×0.8＝）21, 600 円で 12 月 1 日 12:16 新大阪発ひかり 520 号に乗った。15:10 東京着。中央線で新宿に行き京王線の特急で 2 駅目の調布駅に 15:45 到着した。

李喆雨先生に電話をすると「駅前のパルコの 8 階にある調布クレストンホテルのロビーに来て」とのことです。そこで李喆雨先生と韓国の出版社「民俗苑」洪鐘和（ホン・ジョンファ）社長に会った。

私は洪社長に『カラスよ・・・』を3冊進呈した。洪社長は50歳代でとても自信があり、鷹揚に見えた。李喆雨先生からある程度の説明を聞いていたようで面白い本だと興味を持ってくれた。解放空間の歌謡なので当時の文化的な空白を埋めるのに良い本だと評価してくれた。（洪社長は日本語会話ができない）

条件面では

1. 山根が 2017 年 5 月末までに韓国語に翻訳する。
2. 原稿は PDF で出版社に送る。写真も出典を明記。
3. 漢字は山根が略字（日本で使用する漢字）で書き、

洪社長が正字に直す。洪社長が直接校正するようだ。
4. 出版社が 2017 年 8 月までに校正を終え印刷する。
5. 山根は原稿料なし。出資金もなし。口約束で契約書は交わさない。

私は「北朝鮮の歌も多少含まれているが、国家保安法で捕まらないか？」と尋ねた。洪社長は「(学術書なので) 大丈夫だ。捕まったら捕まった時だ」と豪快に笑い飛ばした。→私は、念のために北朝鮮政府成立（1948 年）以降の政治的な宣伝歌謡は削除した。

洪社長は、「売れない学術書を 3000 冊出してきた。もっと良い本を出したい」と信念を見せた。後日、会社の HP をみると、沈雨晟（シム・ウソ）先生も民俗学の本を出していた。

洪社長は「私は洪命憲（ホン・ミョンヒ/홍명희）の孫だ」とも言った。さすがに根性がある。

洪命憲：1888-1968 独立運動家、中国で独立運動活動した後、「東亜日報」、「朝鮮日報」主筆。1927 年から新幹会運動を指導する。27 年投獄。朝鮮時代の義賊を描いた大河小説「林巨正」を執筆。解放後 48 年南北連席会議に参加して北に残留。副首相等を歴任した。

その後、同じビルで李喆雨先生が寿司とテンプラをおごっていただき、楽しく酒を飲んだ。私は 19:03 東京発 22:16 新大阪着ひかりで帰ってきた。ジパング倶楽部は、のぞみが使えないのが不便だ。

翻訳を頑張ってみたものの約束の 5 月末には完成できず、「民俗苑」にメールで謝り、8 月末まで脱稿延期の承諾を得た。翻訳開始当初は P 95 まで楽譜の歌詞のハングル表記だけで楽だった。その後、解説あたりから困難に直面する。①引用した韓国語の原本を探さなければならない。26 年前に使った資料を乱雑に積み上げた本の山から探し出さなければならない。②まず日本語原稿を打つのが疲れる。③省力のために昔使ったワープロの『カラスよ・・・』原稿のフロッピーを活用したくてアマゾンで「OASYS V10」というソフトを買ったが取り付けに失敗。8 月になり大阪駅前第 3 ビル B 2 F の「ダビングスタジオ大阪梅田支店」に持って行き 1 枚 800 円で PC の USB 化に成功。④翻訳したハングルが正しいか不安になる。⑤しかし、1 日 2～3 ページしか進まない理由は、私が 66 歳と歳を取り、根気が続かないためである。

9 月 23 日現在の翻訳作業は、総 391 ページの内 249 ページ。63%しか進捗していない。李喆雨先生と「民俗苑」洪鐘和社長にとっても申し訳ない。

第 2 章「北朝鮮の歌」P 287 まで完成させて打ち切りにしたい。あと 38 ページだけは仕上げよう！（終）